

第 21 回 日本語教育夏期講座

対象：現在日本語教育に携わっている方、または日本語教育に関心のある方。

埼玉県内在住または勤務する方

目的：日本語教育についての理解を深める。

期日：令和 5 年 8 月 4 日（金）

会場：ZOOM 利用によるオンライン開催

申込先：<https://form.os7.biz/f/7c60f12f/>

※こちらのメールフォームからお申込みください。

◆ 講義内容

講義①「日本語の言葉遣いについて考える～敬語を中心に～」

野口 恵子 (東京富士大学)

日本で就職した留学生別科修了生のスピーチを聞く機会がありました。彼らの滑らかな日本語に感心しつつ、「させていただく」の過剰使用などもあり、「ああ、日本のサラリーマンになってしまった」と思ったのも事実です。「習うより慣れよ」と言いますが、学校で習ったのち、実社会で慣れたのでしょうか。人は周りに影響されるものです。私たちがつい使ってしまうおかしな敬語や言い回しを今一度見つめ直してみませんか。

講義②「接触場面におけるコミュニケーションについて

－母語話者と非母語話者が出会うとき－

川口 良 (文教大学)

法務省の最新の発表によれば、令和 4 年末の在留外国人数は 307 万 5,213 人で、過去最高を更新して初めて 300 万人を超えました。今や日本社会は多言語・多文化社会を迎えつつあります。母語話者と非母語話者の間で行われるインターアクションの場を「接触場面」と言います。異なる言語や文化を背負う人同士はどのようにコミュニケーションを行っているのでしょうか。本講義では、母語話者と非母語話者が出会うさまざまな場面の会話について検討します。

文教大学言語文化研究所

令和
5年度

夏期講座

令和5年

8月3日(木)・4日(金)

ZOOM利用による
オンライン開催

3日(木)

英語教育夏期講座

9:10~10:40

「Fostering 21st Century Learners through Theory and Practice」

ヴァーラ内田 エイドリアン(日本大学国際関係学部)

10:50~12:20

「学習者中心の学びとは
- Quality of Lifeの探求から授業実践へ」

村上 裕美(関西外国語大学短期大学部)

4日(金)

日本語教育夏期講座

9:10~10:40

「日本語の言葉遣いについて考える
~敬語を中心に~」

野口 恵子(東京富士大学)

10:50~12:20

「接触場面におけるコミュニケーションについて
- 母語話者と非母語話者が出会うとき -」

川口 良(文教大学)

中国語教育夏期講座

13:10~14:40

「綺麗な中国語の発音を身に着けよう」

続 三義(文教大学非常勤講師)

14:50~16:20

「『桃太郎』のアフレコに挑戦してみよう！」

館野 由香理(文教大学非常勤講師)

書写書道教育夏期講座

10:50~12:20

「新しい教育課程について」

豊口 和士(文教大学)

13:10~14:40

「学習指導要領概説(小中高)」

豊口 和士(文教大学)

14:50~16:20

「新たな動向・視点と指導上の留意点」

豊口 和士(文教大学)

- ※ 受講料無料
- ※ 書道A(書文化)コース今年度非開講

お申込締切: 7月26日(水)

【お申込メールフォーム】QRコード⇒



お問い合わせ

HP: <http://www.bunkyo.ac.jp/faculty/genbun>

TEL: (048)974-8811

FAX: (048)974-8012

〒343-8511 埼玉県越谷市南荻島3337 文教大学大学院附属言語文化研究所